

日野稲門会報

第16号

＊
日野稲門会
事務局
＊

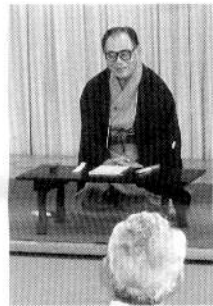
日野市多摩平
6-13-52
窪井方
☎042-585-1953



ご挨拶

日野稲門会会長
森田 治夫

会員の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。
昨年の第26回総会・懇親会は、6月26日、54名の方々のご出席を得て開催いたしました。
第1部総会では、平成16年度の事業報告・会計報告、17年度事業計画・予算及び役員選出を提案し、原案どおりご承認いただきました。また早大への寄付金は、早速大



一昨年に引き続き熱演の河津光紀さん

学へ持参し納付いたしました。
第2部は、一昨年大好評であった「講談」を、河津光紀さんに再度お願いしまして、約40分間の熱演を堪能させていただきました。
会場を「杏花飯店」に移しての懇親会では、初参加者の自己紹介各同好会幹事からの活動報告、入会勧誘の話がありました。
最後に参加者一同で、校歌を斉唱して散会しました。
今年の総会では、役員改選と会則第9条の一部変更を提案いたします。この件につき、皆さんのご審議を得たいと思っております。
また第2部では、校友の吉田夏生さんをお願いしまして、「平山季重と鎌倉時代の武士」と題してお話をさせていただきます。
年一回の総会・懇親会でありませんが、どうか多数ご参加くださるようお待ちしております。

■今年度の行事予定■

- 5月20日 ハイキング同好会
 - 5月26日 春のゴルフコンペ
 - 5月27日 早慶戦を応援する会
 - 5月28日 バードウォッチング会
 - 6月25日 第27回総会・懇親会
 - 9月2日 ハイキング同好会
 - 10月29日 秋のゴルフコンペ
 - 10月28日 早慶戦を応援する会
 - 11月4日 ハイキング同好会
 - 11月5日 第8回芋掘り会
 - 11月19日 バードウォッチング会
 - 12月19日 日野・国立合同早慶戦
 - 12月23日 日野・国立合同同好会
 - 12月26日 日野・国立合同同好会
 - 12月30日 日野・国立合同同好会
 - 3月11日 ハイキング同好会
 - 3月18日 日野・国立合同同好会
- ※ 田舎同好会は、毎月第3土曜日
※ 歌う会は、奇数月第1水曜日、偶数月は第1木曜日に開催。

早大だより

創立125周年の学部教育改革の一環として、07年4月より、文学部と理工学部が再編される。

文学部は、現在の第1文学部と第2文学部を再編し、新たに「文学部」と「文化構想学部」を設置する。

文学部と理工学部の再編

…早大125周年の学部改革…

また理工学部は、「基幹理工学部」と「先進理工学部」「創造理工学部」の3学部3研究科に再編される。

これらの再編の眼目は、今の学生達のニーズにあった編成にしていこうとするものである。

(『早稲田学報』253号より抜粋)

(講師プロフィール)



吉田 夏生さん

よしだ・なつお 62年、第1文学部国史科卒。東京都立大学大学院修士課程(日本史)修了。65年から85年まで、都立高校教諭。76年から85年まで、NHKの日本史講座講師。85年から99年まで、予備校教師・著述業。81年には、日野市の市民講座講師。82年より現在まで、日野市民などを対象とした、日本の歴史を資料から考える会の講師を務める。

第27回 総会・懇親会のご案内

《第1部》総会

日時 平成18年6月25日(日)

午後2時30分より

会費 5千円(会場で徴収)

《第2部》講演

(3時10分より)

会場

多摩平の森ふれあい館

演題 「平山季重と鎌倉時代の武士」

(JR中央線豊田駅北口、徒歩7分、地図参照)

講師 吉田 夏生

議題

①平成17年度事業報告

《第3部》懇親会

会計報告

(4時30分より)

②平成18年度事業計画

会場 杏花飯店

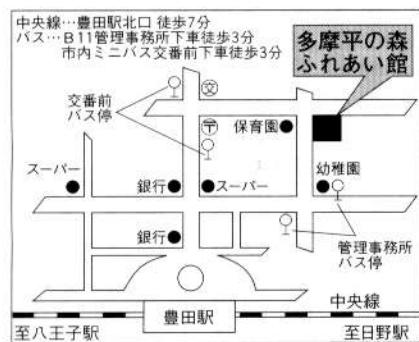
予算

☎586・2070

③役員改選

(JR豊田駅北口、ファミーユ京王3F)

④会則一部変更の件



*会場が例年と違っていただきますので、ご注意ください。
《稲門会会費未納の方は、ぜひ納入をお願いします。》

同好会に 参加して



各サークル会員の声

ゴルフ同好会

(34・商) 中居 篤



6年前に日野稲門会の存在を知り、即入会した。年1回の総会だけでは余り意味が無いので、誰でも出来るゴルフ同好会に入会してみた。知人も居ないので初参加の日は気が重かったが、参加者は多士済々でこれがなかなか面白い。往復のバスでの各人の発言及びコースでのプレー振りを見ていると、毎回優勝を夢見ながら1打1打真剣にプレーする人、帰路のバスでの宴会だけを楽しみに参加している人、練習し過ぎてかえって思うようなスコアを出せぬ人、ゴルフの楽しみは食事と風呂だ等とウンブク輩、ETC、ETC。まことに人間観察をするのに楽しい場だ。

●ゴルフ同好会

〔開催時期〕春秋年2回
〔連絡先幹事〕 山内 治男

(58)・33366

囲碁同好会

(30・政経) 仲林 満



平成2年6月の総会に初めて出て戴いて、いろんなサークルがあることを知り、「趣味囲碁」と書いた手前少しは強くなりたいたい、今は亡き嶋崎さんに入会を申し込んだ。嶋崎さんは、まことに世話好きで、面倒見の良い幹事で、すっかり会にとけこんだ。

山内幹事長の御尽力により、5年前からバスによるゴルフ会になったのは大ヒットだった。中には修行僧の如く黙々とプレーし、終ればシユクシユクと解散するというやり方を好む人も居られるかも知れぬが、往復のバスで得られるコミュニケーションは、これぞ日野稲門会が目的とする「会員相互の親睦を図り」に当たるものと言えよう。ただし「地方文化の向上」にどれ程寄与しているかは甚だ疑問ではあるが。

囲碁同好会は、毎月第3土曜日に豊田駅前の勤労青年会館で1時から5時まで開催され、また第2と第4土曜日は1時から6時まで国立市民館で、国立稲石会主催で開かれる。これは「日野国立稲石会」と称して34名の登録があり、日野は嶋田会長以下18名全員がメンバーである。月に3回開いていることになる。また対局のハンディも点数制を採り入れたので、前より楽しく打てるようになったと思う。

さらに調布稲門会が年2回大会をするたびに、出席要請が来て交流を行っている。メンバーは多いほど良いと思うので、こういった交流は、他のサークルでも盛んに行われて良いものだと思う。

交流といえば、首都圏オール早稲田囲碁祭が市ヶ谷の日本棋院で年1回行われる。昨年は第5回で、出場希望が多いため、1階の大会場で行われた。5人一組の編成で44チームが参加し、日野から日野チーム、国立チーム、日野国立混合チームが出場した。03年の時には、日野チームがBクラスで準優勝をした。

それにつけても思い出すのは、故嶋崎さん、終わってからの一杯も、いつもリード役だった。ご冥福を祈るばかりである。

●囲碁同好会

〔開催時期〕 毎月第3土曜日他
〔連絡先幹事〕 市野 誠一

(583)・1819

バード ウォッチング会

(34・政経) 井上敬三



バードウォッチングを始めたのは、かれこれ20年ほど前。高尾山から多摩川、多磨霊園、新浜、谷津干潟など日本野鳥の会の探鳥会に参加していました。

鳥に興味を持ったのはあるアウトドア雑誌の記事がきっかけでした。日本で見つかった野鳥は約5

00種だそうです。これくらいなら昆虫に比べればお手軽なもの、あまり努力しなくても何とかやっつけていけるのではないかと考えてのスタートでした。

慣れてくると野鳥の会を離れて一人で歩き始めました。フィールドは家の近くの浅川周辺と多摩丘陵。毎週2回、10倍の双眼鏡を持って、3年ばかり熱中しました。

しかし、いま手元に残った10冊くらいの手帳をチェックしてみますと鳥種は100もない。一人で壁にぶつかったのです。そして川歩き野歩きは、なんとなく中断してしまいました。

長いインターバルの後、再び浅川のフィールドに復帰できたのは日野稲門会のバードウォッチングのお陰でした。

この会はずばらしく、質が高い。粕谷和夫さん、下重喜代さんお一人の講師が小さなお子さんにも経験者にもやさしく的確に解説してくれます。鳥を探しスコープに入れば、参加者に見せるまでの早業は驚異。会の運営も企画も充実しています。軽井沢など遠出もあり、楽しい。心を入れ替え、バードウォッチングに再度挑戦しています。

* * *

●バードウォッチング会

〔開催時期〕 春秋年2回
〔連絡先幹事〕 阪本 昭夫

(59)・4453

日野荒ぶる会

(ラグビー)

(32・商) 小林敏孝



私が、初めて早慶ラグビーを観戦したのは、昭和26年、東京ラグビー場（現秩父宮）でした。ターザンと呼ばれていた日本のロック、橋本晋一氏が主将で、接戦の末、9対8で早稲田が勝ちました。それ以来、ラグビーの虜となり、『荒ぶる会』へのお誘いに喜んで仲間に入れていただきました。

早慶戦を始めとし、明治、関東、日本選手権と会の仲間と心躍らせながら応援に参加しています。終われば、なじみの蕎麦屋で、杯を傾けながら、戦評を熟っぽく語り合い、『都の西北』の大合唱でお開きとなります。これがまた楽しみの一つです。

今年2月12日、トップリーグ4位のトヨタ戦は、久し振りに興奮しました。終了間際の両チーム必死の攻防は、歴史に残る見事なものでした。その勝利の場に居合わせた幸運を有難く思っています。

清宮ワセタが、輝かしい実績を残してくれました。新体制になっても期待に込めてくれることを確信しています。

佐藤さん（早稲田、東芝で活躍）

の陰で何時も良い席で応援できること、また何かと会の面倒をみていただいている英さんに心よりお礼を申しあげます。

●日野荒ぶる会（ラグビー）

〔開催時期〕 大学選手権他
〔連絡先幹事〕 英 武
(584・7626)

ハイキング同好会

(49・文) 小早川博子



上の娘が早稲田を卒業し、社会人3年目のころ、子育ても終了と、ハイキング同好会に入会しました。みごとの的は当たり、ハイキングという趣味が生活を豊かにしてくれました。

それと早稲田人のカラーでもあるのが、実にユニークな人達との交流を通して見聞が広がりました。山の知識が豊富なSリーダー、山の植物博士Fリーダーご夫婦、お酒と若い女性が好きなHさん。



鷲ヶ峰山頂での筆者

Sさんのジョークはおもしろい！忘れてはならないのが、5分間の休憩でもサッサーと山の風景をスケッチするNさんなど。女性会員のNさんやTさんとは人生の深いことまで話し込んだりご主人に同行される奥様達と女同志の気楽なおしゃべりを楽しんだり、これからも、いろいろな山と様ざまな人達との出会いが楽しみです。

●ハイキング同好会

〔開催時期〕 年4回
〔連絡先幹事〕 菅沼 康光
(582・0286)
藤村 重雄
(593・1163)

かか 阿々大笑・阿歌大唱

(歌う会)

(36・政経) 神保政幸



いつの頃から歌い出したのだろうか？幼い弟を母親代わりに寝かしつけるのに歌った子守唄に自らも涙して寝入ったほろ苦い想い出。「歌が上手いのは男子の恥」と、わざと外して歌った「叱られて」

小四。学芸会、大得意で独唱した「スキー」小六。組み立てたばかりの鉱石ラジオから最初に流れたひばりの「越後獅子の唄」中一。戦後の辛い生活苦の中で耳に親しんだ

父の鼻歌「赤城の子守唄」と、母の愛唱歌「美しき天然」。振り返ると、歌はいつの頃も私の傍らにいた。ビジネス戦線を迷・敗走し、漸く一息ついた時、早川氏の会報13号からの「歌う会」立ち上げと誘いのメッセージに邂逅。待つてましたと入会。優れたマネージメント、集う多士の個性豊かな歌唱、ふりに心置きなく交歓できる楽しさに魅了される。

歌は「劣り」「癒し」「励まし」と自己陶醉し、時に大いに弾ける。フト思う。「もし、俺、早稲田じゃなかったら、こんな僥倖無いよなあー!」有り難いことが今、此处に有り得ている有り難さに心から感謝!

●歌う会（カラオケ）

〔開催時期〕 偶数月第1木曜日
奇数月第1水曜日
〔連絡先幹事〕 早川 圭典
(593・4871)

早慶戦を応援する会

(37・商) 新田道嗣



「早慶戦の応援！」そのひと言が、既にそれが遠い思い出の彼方の存在となっていた私には、とても新鮮に響いたものだ。さっそく仲間に入れて頂いた。神宮球場の満員のスタンドに陣取って、選手諸君の一挙一動に声援を送る。腕を振りかざして「早稲田大学校歌」や「紺碧の空」に声を張り上げていると、いつの間にか何十年もの昔にタイムスリップしたような気分になる。今は昔、山口県の片田舎から青雲の志を抱いて上京し、憧れの早稲田大学生として初めて早慶戦の応援に臨んだあの日の感激が、私の心に蘇る。私にとって、早慶戦の応援は青春時代への回帰の場と言っても過言ではないかも知れない。これまで「応援する会」に参加した中で、特に印象深かったのは、27年ぶりに勝ち点4同士の対決となった、昨年春の早慶戦第1試合だ。早稲田が先発宮本の好投と田中幸の満塁本塁打により4対2で快勝し、完全優勝に王手をかけた。増田屋そば店での祝勝会で酌み交わした美酒の味は、また格別だった。

●早慶戦を応援する会

〔開催時期〕 春秋早慶第1回戦
〔連絡先幹事〕 金子 順治
(593・5036)

あれは確か、探鳥会に一緒に結した折だったと思う。阪本さんから「今度、六大学野球の早慶戦を応援に行きませんか」とのお誘いを

芋掘り会 うらばなし



(40・政経) 小笠原 豊

清水さんである。
最初の芋掘り会は、参加人数も少なかったが、昨年は、25世帯70名以上の参加があり、今後とも微増傾向にある。

日野稲門会には、7サークル以外に、会主催の秋を伝える「芋掘り会」があり、今年で8年目を迎える。8年前は、サークルは2つほどであった。ある時の幹事会で、「家族との喜びの共有」が出来る芋掘りを提案し、承諾された。

すぐさま農家探しの行動を開始した。最初に行ったのが、近くの日野南農協。農協なら農家との接点は当然深いからだ。ところが、迷惑な話とはばかり、すぐに迫り返された。

次に行ったのは、市役所の農業委員会。話をすると相談内容が違



家族そろって楽しい芋掘り会



コンテスト後の味のすくい取り

地図を片手に2軒の農家を訪問したが、芋は作っていないかった。半分あきらめと失望の気持ちで3軒目の農家の門をたたいた。内容を伝えると、なんとその場で快諾してくれた。帰途のハンドルは、嬉しさのあまり、はずんでいた。その方が、今もお世話になってい

芋掘りは大地の香りをかぎながら、芋を自ら発見する楽しさ、自然の面白さに気づき、子供たちの感性の基礎づくりに通じる気がする。激しく手を動かしながら、家族の笑顔と会話もはずみ、時として大きな歓声も伝わる。

◆ ◆ ◆

芋掘り会の後半に行われる里芋掘りは、全員参加の共同作業である。里芋掘りのチームワークと効率の良さは見事である。特に女性軍団は素晴らしい。

最後に、芋掘りコンテストと手作り大学芋をつまむお茶会で閉会する。

参加会員が、家族への感謝の気持ちや、家族へのお返しとして楽しんでもらえるならば、最高のイベントである。

いつ頃だったか忘れたが、清水さんと農業の話をしていた時に居合せた家内が、アメリカのブルーベリー畑の話をしたことがあった。それがきっかけになったのだろうか、今では、小さな芋畑のとなりに見事なブルーベリー畑が広がっている。

収入の部	平成17年度収支計算書 (17.4.1~18.3.31)		平成18年度収支計算書 (18.4.1~19.3.31)	
	金額	摘要	金額	摘要
前年度繰越金	534,203		330,860	
会費	304,000	2,000×152名	270,000	2,000×135名
受取利息	3		0	
寄付金	3,000		0	
組織強化補助費	110,000	早稲田大学組織強化補助費	110,000	早稲田大学組織強化補助費
総会会費	265,000	5,000×53名	250,000	5,000×50名
計	1,216,206		960,860	
支出の部			支出の部	
文化活動費	144,970	芋掘り、ハイキング他	157,000	芋掘り、ハイキング他
会報発行費	44,000	第15号400部	45,000	第16号400部
名簿関係費	0		0	
通信費	11,900	総会、芋掘り	15,000	総会、芋掘り
旅費交通費	28,340	会報、代議員会、稲門祭	25,000	会報、代議員会、稲門祭
会議費	10,480	会館使用料他	13,000	会館使用料他
125周年寄付金	200,000			
諸会費	110,000	会長会、三多摩支部	100,000	会長会、三多摩支部
事務用品費	13,647	インク、宛名ラベル他	20,000	インク、宛名ラベル他
支払手数料	9,420	郵便振替手数料	13,000	郵便振替手数料
雑費	31,605		0	
予備費	0		0	
総会費	280,984		270,000	懇親会、講師謝礼
次年度繰越金	330,860	名簿発行費積立金他	302,860	
計	1,216,206		960,860	
預り金	6,000		0	

◆ 計報
当会の元副会長、早大校友会の元代議員であった嶋崎巖さん(34・法)が、昨年6月4日に逝去されました。享年69歳。
嶋崎さんは、閉基同好会の元幹事としても、会の発展に尽力されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

◆ 会員の動き

《新入会員》

- 白髭 卓之 44 専修学 建築
- 大西 栄蔵 60 文 社会
- 北川 賢治 37 商
- 長谷川洋文 47 理工 工経
- 仙頭 和明 62 法 露文
- 藤森 寛行 61 文

《退会会員》

- 中山 龍夫 死亡
- 嶋崎 巖 死亡
- 一ノ瀬正彰 死亡
- 島林 和哉 死亡
- 長塚 一雅 死亡

《日野稲門会現役員》

- | | | | |
|-------|--------|-----|--------|
| 会長 | 森田 治夫 | 副会長 | 嶋田 富次 |
| 幹事・監査 | 木村 三郎 | 幹事 | 山内 治男 |
| | 石坂 松男 | | 石坂 松男 |
| | 英 正 | | 英 正 |
| | 市野 誠一 | | 市野 誠一 |
| | 吉原 圭典 | | 吉原 圭典 |
| | 早川 康光 | | 早川 康光 |
| | 菅沼 康典 | | 菅沼 康典 |
| | 窪井 勝典 | | 窪井 勝典 |
| | 金子 順治 | | 金子 順治 |
| | 阪本 昭夫 | | 阪本 昭夫 |
| | 小笠原 豊 | | 小笠原 豊 |
| | 山口 隆久 | | 山口 隆久 |
| | 鈴木 武彦 | | 鈴木 武彦 |
| | 藤村 重雄 | | 藤村 重雄 |
| | 土肥 宏一郎 | | 土肥 宏一郎 |
| | 61 土木 | | 61 土木 |
| | 43 機械 | | 43 機械 |
| | 41 政経 | | 41 政経 |
| | 40 政経 | | 40 政経 |
| | 37 教育 | | 37 教育 |
| | 37 法 | | 37 法 |
| | 36 工経 | | 36 工経 |
| | 36 建築 | | 36 建築 |
| | 35 政経 | | 35 政経 |
| | 35 文 | | 35 文 |
| | 34 政経 | | 34 政経 |
| | 34 商 | | 34 商 |
| | 30 商 | | 30 商 |
| | 30 教育 | | 30 教育 |
| | 26 法 | | 26 法 |
| | 23 専攻 | | 23 専攻 |